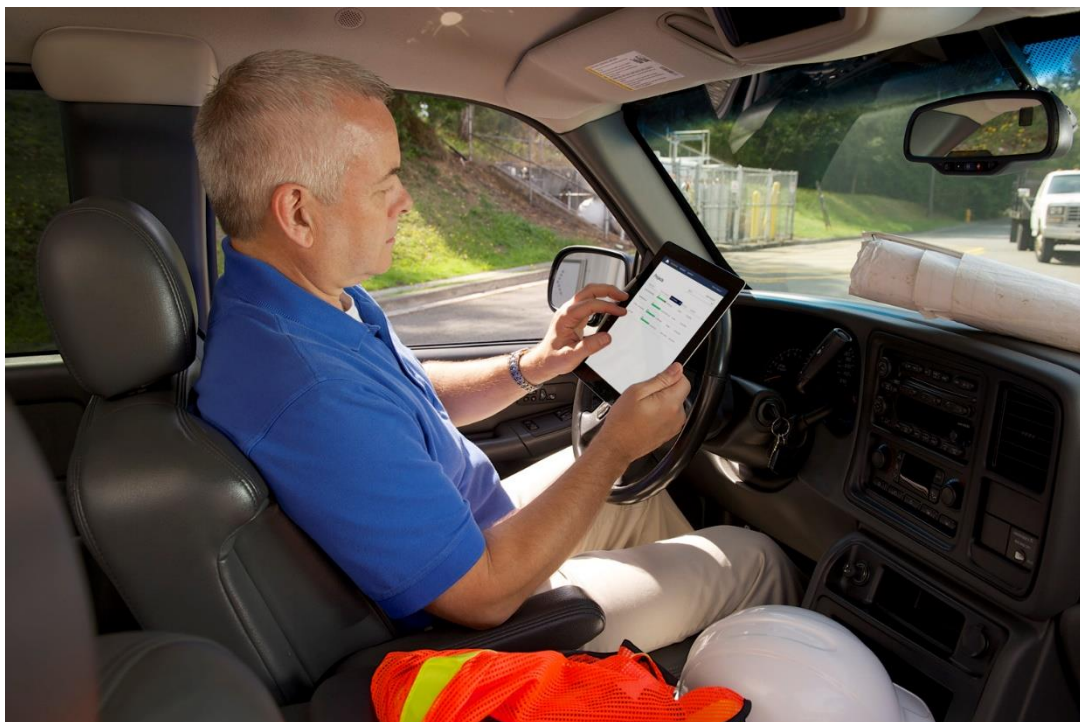


LinkWare™ Live が実現する ソーシャル・ディスタンシング



2020年5月29日 / 一般

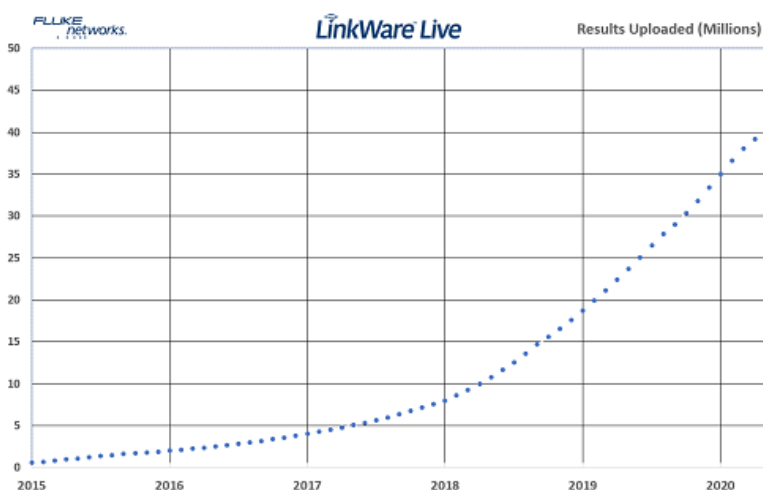
フルーク・ネットワークス “ケーブリング・クロニル” ブログより転載・翻訳

<https://jp.flukenetworks.com/blog/cabling-chronicles/social-distancing-linkware-live-way>

はじめに

誰もがスマートに仕事をしたり、ソーシャル・ディスタシングを保とうとしたりしている中、2015年の発売以来、4,000万件以上のテスト結果のアップロードがなされたことで、LinkWare™ Live は新たな金字塔を打ち立てました。昨年の春には 2,000 万件を突破しましたが、これは LinkWare Live の利用が指数関数的に増加し続けていることを意味しており、総アップロード数は 12 ヶ月ごとに約 2 倍に増加しています。

しかしながら、ご想像のとおり、ここ数ヶ月で月間アップロード数が鈍化し、平均 140 万から 110 万、約 21 % と落ち込んでいます。それでもまだ多くのテストがなされており、なぜもっと落ちていないのか不思議に思うかもしれません。1 つの仮説としては、LinkWare Live が、社会的な距離を保つことを容易にしてくれることからお客様がそれに気づいて、実際に LinkWare Live の人気が高まっているのではないかというものです。



在宅で仕事をしている人とは異なり、技術者は現場に出向き配線の認証試験をしなければなりません（認証ロボットは面白いアイデアかもしれませんが、Versiv が寿命の限界まで使い切られるまでは、お客様は購入しないと思いますし、またそのころには、このパンデミックもある種の思い出となっていることでしょう）。ほとんどの人が LinkWare Live を採用して作業プロセスを合理化し、コストを節約していますが、LinkWare Live は、敷設時の認証試験の主要部分をリモートで実行できるようにすることで、社会的な距離を縮めることも容易にしています。

まず、最も人気のある LinkWare Live の機能としては、技術者がオフィスに行かなくても結果をオフィスに送り返すことができます。これにより、ガソリン代と時間を節約でき、さらに最も重要な点は、直接会う必要性がなくなることです。得られたテスターからの試験結果は、技術者が Wi-Fi や携帯電話をホット・スポットとして現場、あるいは帰宅してからも容易にアップロードできます。その時には、数回クリックするだけで LinkWare Live を使用した顧客レポートの作成ができます。また LinkWare PC を使用して結果を保存し、レポートを生成する場合でも、この方法で結果を転送することができます。つまり、LinkWare PC は LinkWare Live から結果をダウンロードすることもできます（結果がクラウドに安全にバックアップされるという副次的な利点もあります）。先日の「スナック・サイズのスライドなし」[ウェビナー](#)では、それがいかに簡単であるかを実演で示しました。

次に、離れた場所から、初めてのテストでも始めから正しく行われるようにするには、LinkWare Live を使用してテスターをリモートでセットアップすることです。プロジェクト・マネージャーやリーダーは、現場に向いて作業者が試験のためにテスターをセットアップするのを手伝う代わりに、PC やタブレットを使ってオフィスや自宅から LinkWare Live 経由で試験のセットアップを行い、クラウドに保存することができます。各プロジェクトには、複数のケーブル・タイプ（メタルとファイバーの両方）、テスト・リミット、および識別子を含めることができます。現場の技術者は Versiv テスターの「同期」ボタンをタッチするだけで、利用可能なプロジェクトを確認し、必要なジョブの設定をダウンロードすることができます。Versiv テスターは複数のプロジェクトを保持することができますので、複数の現場で作業している場合でも、この作業は 1 回だけで済みます。



LinkWare Live は、さらに多くの方法でリモート操作を容易にします。プロジェクト・マネージャーは、テストがアップロードされる際にジョブのステータスをチェックし、テストの不合格や校正されていない機器から試験結果がアップロードされていないかどうかを確認し、問題を素早く見つけることができます。また、LinkWare Live により、予期しない設定や識別子に自動的にフラグを付けることも容易にできます。識別子は、主要なラベル付け用のラベラーにダウンロードすることもできるため、プロジェクト・マネージャーが現場に向く必要がなくなります（ラベリング・エラーがなくなるのは言うまでもありません）。キャリブレーションの状態やソフトウェアのバージョンはリモートで確認できます。そのため、アップデートが必要な場合は Wi-Fi 経由で行うことができるため、オフィスに戻る必要がありません。最後に、地図上でテスターの位置を追跡して、最後に同期した時刻を確認することもできます。

無料の LinkWare Live アカウントにサインアップするには、こちらからどうぞ。

<https://jp.linkwarelive.com/>

フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション・ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータ・センターの設置から災害時の電話サービスの復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。

DSX-8000 CableAnalyzer™ - メタル配線認証手順のステップの時間短縮を加速化します



[DSX-8000 CableAnalyzer](#) は、最も厳しい測定精度要件である TIA の精度レベル 2G に適合する一方、比類のないスピードで Cat 8 および Class I/II のメタル認証試験を効率化します。ProjX 管理システムは、作業の確実な実施を実現し、試験のセットアップからシステムの検収までの作業進捗状況の把握を容易にしてくれます。Versiv プラットフォームは、光ファイバー試験 (OLTS と OTDR の両方) もサポートします。このプラットフォームは、将来の規格改定へのサポートに備え、容易にアップグレードが可能です。近端漏話、反射およびシールド不良を含む不良原因のグラフィカルな表示を行う Taptive (タップティブ) インターフェースにより不良原因のより素早いトラブルシューティングができます。また LinkWare PC 管理ソフトウェアを使用し、試験結果の解析と専門的なテストレポートの作成が可能です。

CertiFiber® Pro - 光ファイバー認証試験プロセスのすべての段階の作業効率を上げ、加速化します

[CertiFiber® Pro](#) は、2 波長、2 本の光ファイバー認証の効率を改善し、試験をわずか 3 秒で実施できます。Taptive (タップティブ) インターフェースにより、セットアップの簡素化、間違いの排除、さらにトラブルシューティングのスピードアップが図れます。基準値設定の自動ガイダンス機能により、確実な基準値設定が可能になり、負の損失結果発生もなくなります。OptiFiber Pro モジュールと組み合わせて、Tier 1 (基本) / Tier 2 (拡張) 試験とレポート作成のすべてを行えます。便利な 4 波長モジュール によって、シングルモードとマルチモードの両方に対応できるばかりでなく、マルチモードの EF 適合性能もサポートします。



OptiFiber® Pro OTDR - データ・センター/企業向け光パルス試験器



[OptiFiber® Pro OTDR](#) は、業界初の企業/データ・センターの課題解決向けに一からデザインされた光パルス試験器です。シンプルでこれまでにない効率性、さらにキャンパス、データ・センターおよびストレージ・ネットワークのトラブルシューティングに正に必要な機能群を組み合わせたツールで、現場の技術者を、専門知識を備えた光ファイバー専門技術者に変えてしまいます。すなわち、業界唯一のスマートホン・タイプのユーザー・インターフェースを備えることで光ファイバー試験を新たな高みに導きました。そして、DataCenter OTDR コンフィギュレーションにより、データ・センター試験における不確実性やエラーが排除されます。その極めて短いデッドゾーンにより仮想化データ・センターにおける光ファイバー・パッチコード試験も可能にします。

FI-7000 FiberInspector™ Pro - 光ファイバー・コネクタ端面を 2 秒で自動合否判定

[FI-7000 FiberInspector™ Pro](#) は、汚れ、へこみ、小片、および傷による問題箇所をグラフィカルに表示します。業界標準規格の IEC 61300-3-35 に基づき判定できるため、端面検査における主観的な判断を削除することができます。



Versiv 製品選択ガイド

選択ガイドへのリンク

フルーク・ネットワークス
株式会社 TFF フルーク社

〒105-0012
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F
TEL 03-6714-3117 FAX 03-6714-3118
Web サイト: <https://jp.flukenetworks.com>
©2020 Fluke Networks Inc. All rights reserved.
Printed in Japan 08/2020 7003669